



やぶ2050  
 ~居空間構想~  
**YABULIFE**  
 養父市移住定住促進ガイドブック

やぶで暮らしを  
 試してみませんか

目指しています

- 「市民」がアクティブに自分らしく暮らすまち
- 「地域」のつながりを力に開かれたコミュニティがあるまち
- 様々な「公共」(主体)が地域を豊かにするまち



10年、20年よりも、もっと先の未来の養父市デザイン

やぶ2050

く居空間構想く

移住を希望されるみなさんは

2050年の養父市でどんなふう

暮らしていると想像しますか？

養父市では、持続可能な養父市を

次世代へとつないでいくため

10年、20年よりもっと先の未来を思い描き

「やぶ2050く居空間構想」を定めました。

一人一人が主役になれる、挑戦できる「居空間」で

全員参加の養父づくりに参加しませんか。

### 居空間とは

互いに「理解し合う、協力し合う」ことを感じる空間

▶市内外に住む住民が相互扶助の精神に基づき、支え合う場です。

豊かな自然や環境への配慮と文化・伝統の「分かち合い」を感じる空間

▶豊かな自然環境への配慮、文化伝統を維持し、創意工夫から新たな価値を生み出す場です。

先端技術で「出会い、つながり」を感じられる空間

▶市外に住む市民も持続的につながりを持ちたくなる、交流の場です。



## CONTENTS

やぶぐらしびと Voice ～移住者の声～

- 1 自然や古民家の魅力をシェアしたい  
坂本さん夫婦…………… ④
- 2 活動拠点を地方に移し  
ますます広がる演劇の可能性  
田上さん家族…………… ⑥
- 3 「農業」と「子育て」が両立できる場所  
青木さん…………… ⑧
- 4 人とのふれあいが温かい。  
懐の深さが「やぶ」の魅力  
五百井さん…………… ⑨
- 養父市ってこんなところ…………… ⑩
- 子育て支援制度…………… ⑫
- 就農・就職支援制度…………… ⑬
- 住宅支援制度…………… ⑭
- 田舎暮らし Q&A …………… ⑰
- 移住へのステップ…………… ⑲

やぶぐらしびと

# VOICE

— 移住者の声 —



ゲレンデが近くて便利な若杉高原スキー場。冬期以外も星空キャンプなどのイベントが盛りだくさんでファミリー層からの人気が高い (2022.3 撮影)

自然や古民家の魅力を

シェアしたい



01  
VOICE

坂本 裕介さん (加古川市出身)

移住年：2012年  
職業：レジャースタッフ

かおりさん (神奈川県出身)

移住年：2019年  
職業：会社員



幼いころから祖父母が住む養父市大屋町に来ていた裕介さん。お盆や正月が好きだった。祖父からは「お前があととりや」と言われていたこと、就職活動の際「自分の好きな町に住みたい」との思いから、但馬の企業説明会に参加し養父市を拠点にして働くことを選んだ。祖父母の家に孫ターンをして但馬エリアを中心として仕事をしてきたが「もっと自然をフルに感じられる仕事をしたい」との思いからレジャースタッフの仕事に就いた。



入社するまでアウトドア初心者だった坂本さんは、お客さま視点の丁寧な案内を心掛けている



### 人と自然に囲まれて働く

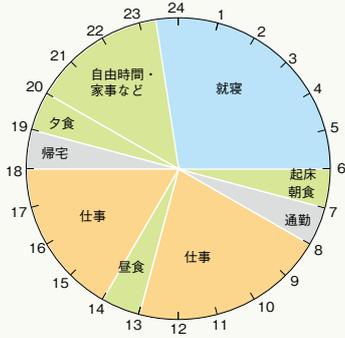
夏はキャンプ場、冬はスキー場になる「若杉高原スキー場」での仕事は、田舎ならではのことはかりだった。若手社員も多く、自分たちで新たな企画を考えていくやりがいも感じられる。県内外から訪れるお客さまに、いかに若杉の魅力を伝えるかを考えてトライアンドエラーをくり返した。星や星座の名前を覚えて解説できるように勉強したり、地元出身のスタッフらと情報交換したりするうちに「若杉だけでなく、大屋、養父、但馬全体をレジャーで盛り上げたい」という気持ちが高まった。

### 共同作業で深まる交流

家の近所の御井神社に伝わる「鬼と松明の奇祭・まいそう祭り」に、主役となる鬼役で参加したり、消防団の活動をしたりすることで、地域とのつながりが強くなっていくのを感じた。

誰かに必要とされることで個人と共同体の大切さを実感した裕介さん

### 裕介さんのある日のスケジュール



元の内壁に近い色を塗って、古民家の雰囲気を生かしたリフォームをするふたり



### 古民家の良さを生かして改装する

「やぶの空き家活用支援事業」を活用してともに暮らすことにしたふたりは、レトロな雰囲気を生かしたままの改装を望んだ。1階をリフォームするときも、工務店に「古いものが好きなので、できる限り壊さずに古民家を生かした形にしたい」と伝えた。かおりさん自ら仕事終わりに現場に寄り、壁面や天井を塗ることもあった。

片づけとリフォームに4カ月かけた我が家が完成した。かおりさんが彫刻刀で作った表札が仕事帰りのふたりを迎える。



### ゆったりと生活する良さを伝えたい

「夏の夜に、ふと見上げた星空がきれいだ」と満足そうに話す裕介さん。思い描いていた田舎暮らしを満喫しながらも、次は2階をリフォームしたり、庭にウッドデッキを作ったりして夜空を眺めたいと夢は膨らむ。

幼いころ「行くところ」だった養父は「帰るところ」になった。自然に囲まれて仕事をし、古民家を再生して住みよい場所を手に入れたふたりは、このやすらぎをもっと多くの人に伝えられたらと語る。

たまげた！  
いなるちゃー

大雪のときに近所の方から「前住人だった人は屋根を補強してなったでえ」と教えていただき助かりました。

活動拠点を地方に移し

ますます広がる演劇の可能性

02  
VOICE

田上 豊さん(熊本県出身)

職業：劇作家・演出家

典子さん(山形県出身)

職業：演劇の企画・制作

聖さん 潤さん 千歳さん

移住年：2021年

「追い立てられるように時間が過ぎる東京に長く住んでいた反動から、自然が豊かでゆったりとした時間が流れる場所を求めたのかもしれませんが」と豊さん。

渋谷のスクランブル交差点のすぐ近くに20年以上暮らしていたが、豊さんは2022年4月から兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学の助教として着任するため、また、典子さんは平田オリザ氏率いる劇団・青年団の運営会社の社員として江原河畔劇場で活動するため、東京を離れることを決めた。

二人の職業に共通する演劇活動を通じて何度か但馬を訪れていたとはいえ、養父市に居を構えることになるとは思ってもなかったという。



円山川のほとりにある江原河畔劇場。スタッフがくつろいだり、打ち合わせをしたりするカフェスペースもある

## はじまりは豊岡での公演

2014年に豊岡市民プラザで演劇公演のため初めて但馬の地へ。その後も毎年、公演があるたびに訪れ、新しいことや面白いことができる経験を積み重ねていくうちに、地方のポテンシャルの高さに気付く。

先んじて但馬に移住した演劇関係者も多く、事前情報の収集も万全。家族5人が住める広い家を「空き家バンク」で探し、養父市に住むことを決めた。

「朝、窓のカーテンを開けたときに見える景色が絵画のようで好きなんです」と典子さん。毎日同じ時刻でも、季節や天気によって違い、見飽きることがない。「四季の豊かな変化を子どもたちと一緒に経験できることがうれしい」と話す。

## 休みのひとときはYBファブで

引っ越して2カ月後にやぶ市民交流広場（愛称・YBファブ）がオープン。ホールと公民館、図書館、公園を備えた複合施設で家から歩いていける距離なので、休みの日に親子で過ごすこともある。仕事や学校の帰りに立ち寄りたくなるような場所を目指して造られており、居心地のよいところだ。

田上さん夫妻は生活シーンだけでなく演劇の練習や発表の場としての活用にも期待を膨らませている。

## 体も心もあつたまる「雪かき」

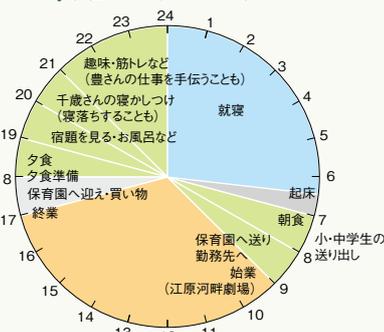
養父市に住んで初めての冬は数年

ぶりの大雪だった。田上家の前は私道で公共サービスによる除雪はないため、雪が降るたびに隣近所の方と一緒に雪かきをしたという。「大変でしたが、いいこともありました」と典子さん。田上さん一家が住む前は空き家だったため、両隣りの方が雪かきをしていたが、今年は「引っ越してきてくれて楽になったわ」と喜んでおられたそう。雪かきがご近所さんとの距離を縮めてくれたと感謝している。

## 養父市で見つけた「やりたいこと」

これまで豊さんがファシリテーター、典さんがコーディネーターとして、全国各地で演劇を活用したワークショップを開催してきた。その経験を生かし、学校や地域の困りに寄り添ったテーマでワークショップを開き、地域の課題解決に貢献したいという。「私たちの仕事はこれまで養父市に存在しなかった業種。せつかくなら役立ててもらいたい」と田上夫妻。演劇という新しい風が吹き込まれた養父市の未来を早く見てみたい。

## 典子さんのある日のスケジュール



2021年9月にオープンした、YBファブのコンセプトは「人と文化と郷土をつなぎ、未来を創る学びと交流の拠点」



たまげた！  
いなかるちゃー

突然、鳴り響く「防災告知放送」にびっくり。どこかで火事があったとか、学校の下校時刻が変わるとかを知らせてくれます！！

「農業」と「子育て」が  
両立できる場所



03  
VOICE

青木 幸さん  
(尼崎市出身)

移住年：2018年  
職業：農家  
子育て・移住サポートセンター  
スタッフ



養父市役所から徒歩2、3分の場所にある「子育て・移住センター」で移住希望者から相談を受ける青木さん

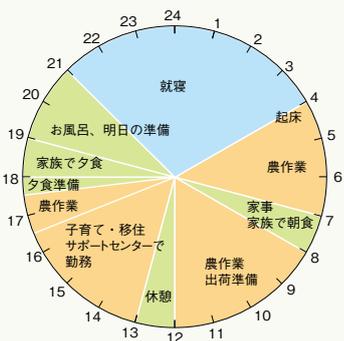
世界を旅して分かった  
農業の楽しさ

東京で10年ほど会社勤めをした後、夫と一緒に3年をかけて60カ国を周る旅へ出た青木さん。世界中を旅するうちに、環境に負荷が少ない暮らしを目指すエコビレッジ（環境共生型コミュニティ）に興味をもち、デンマーク、ブラジル、イタリアのエコビレッジで現地の人と農業をしながら生活した。帰国後、大阪で暮らしていたが、就農と子育てをするなら田舎で暮らしたいと考え、候補地をいくつか検討した結果、2018年に父母の家のある八鹿町高柳に移住した。

充実した農業と子育てへの支援

「農業」と「子育て」の両立にチャレンジしてみようと思えたのは、養父市が国家戦略特区で農業法人へインターンシップのできる制度や、新規就農を支援する「農業次世代人材投資事業制度」が充実していたこと、保育所の待機児童がない環境や、

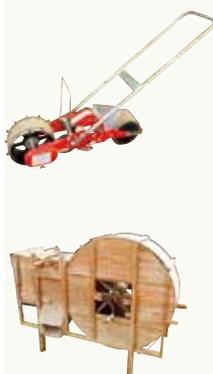
ある日のスケジュール



地域貢献

「私だからできること」で  
移住した直後から農業と並行して子育て・移住サポートセンターで週1回移住希望者の相談を受けている。青木さん自身、農業を始める時に周囲の人に助けられた経験から「都会生活と田舎暮らしの両方の経験を持つ私が、住まいや職探しの不安を解消してあげたい」と話す。

現在、watayafarmという屋号で、有機栽培した麦や野菜を、ECサイトなどで販売している。小さい規模の農業だからできる循環型の農業を目標に、周りの人と協力し合い、地元の環境を活かした地域農業の活性化に貢献できればと考えている。



こちらではほとんどが車で移動。満員電車の通勤ストレスから解放されたので、毎日が楽ちんです。



窓口対応や申請書類の手続きなど覚えることは多いが、やりがいを感じる日々

イ オ イ  
**五百井 雄貴さん**  
(揖保郡太子町出身)

移住年：2021年  
職業：公務員

**04**  
VOICE



来るたびに魅力を発見できるまち

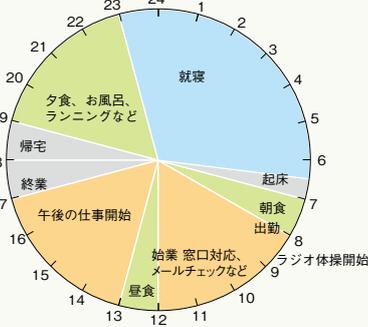
揖保郡太子町出身の五百井さんは、大学2年生の時、ゼミで養父市の活性化に取り組む「やぶらぶプロジェクト」で八鹿町の八木に初めて訪れた。3年生になり、八木を再度訪問。高齢者問題解決のテーマで取材を行った。取材で知り合った農家の稲刈りを手伝い、収穫したお米を送ってもらったこともあったそう。

その後も養父市役所のインターンシップに参加。滞在期間中に開いてくれた飲み会などで、「地元出身ではないのに、すんなりと受け入れてくれる懐の深さに驚いた」という。次第に養父市で暮らしてみたいという気持ちが強くなり、大学卒業後に養父市役所への就職を希望した。

**行政の立場で養父市を支える**

現在は健康福祉部の保険医療課で、主に国民年金と福祉医療を担当。窓口での対応や、手続きのほかにも、市の診療所の引越しや除雪作業など、地域の困りごとにも対応している。覚えることが多くて大変だとい

**ある日のスケジュール**



やぶぐらしびと  
**VOICE**  
- 移住者の声 -

学生時代から故郷のお祭りの運営をするほどお祭り好きな五百井さん。「養父市の伝統あるお祭りにも積極的に参加して、地域文化の継承にも関わってほしい」と語ってくれた。

五百井さんにとっては人生で初めての一人暮らし。多少不安はあったものの、職場以外にもご近所の交流も多く、すぐに養父市での生活に慣れた。オフの日は趣味のカメラで別宮の棚田の撮影に行ったり、氷ノ山までドライブしたり、養父市の自然を満喫している。

たまげた！  
いなかるちゃー  
**但馬弁**

故郷の播州弁とは違い、やわらかい言葉使いの但馬弁。「～しとぎんせえ」と言われると心が和みます。

人とのふれあいが温かい。

懐の深さが「やぶ」の魅力



養父市

兵庫県

養父市ってこんなところ

# YABUCITY

養父市は兵庫県北部の但馬地域の中央に位置しています。市の東部を一級河川円山川が南東から北東の方向に流れ、その支流の八木川に沿って八鹿、関宮地域が、大屋川に沿って養父、大屋地域が位置しています。西部には県下最高峰の氷ノ山や鉢伏山、ハチ高原、若杉高原が、北部には妙見山がそびえるなど、雄大で美しい自然に囲まれています。

のどかですぐしやすい町です



四つの町が  
合併して誕生

養父市は、平成16年(2004)4月1日、兵庫県養父郡の八鹿町・養父町・大屋町・関宮町の4町が合併して誕生しました。

人口 22,129人  
世帯数 8,388世帯  
(令和2年国勢調査より)

京阪神まで  
意外と近い



週末は買い物やレジャーへ  
車でGO!

大阪・神戸・京都まで  
車で1時間30分～2時間30分

県北部・但馬の中央に位置し、姫路城、鳥取砂丘、城崎温泉など人気の観光地にも約1時間程度で行けます。



日本遺産  
鉱山遺跡で  
初の認定!

イベントの時は  
一円電車が運行してるよ



日本の近代化を支えた  
産業遺産です



日本遺産のストーリー「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」を構成する2つの鉱山、日本一のスズ鉱山として栄えた明延鉱山、関西一の金の産地だった中瀬鉱山。養父市に残る2つの鉱山の遺跡や景観は地域の誇りです。





こだわりの農産物が目白押し!



新鮮な食材が  
手軽に手に  
入ります



養父市地域ブランド推進協議会が認定する「やぶの太鼓判」は、こだわりの農産物や加工品を厳選して取り揃えています。お土産や贈答品として自信を持ってお奨めできる商品です。

<http://www.yabu-brand.com>



第6回やぶ医者大賞授賞式

### 若手医師を顕彰する やぶ医者大賞を開催 しています

やぶ医者のモデルといわれる養父出身の長島徳庵は5代將軍徳川綱吉の主治医になるほどの名医。「やぶ医者」の語源は、もともとは養父にいる名医のことが語源になったと伝えられています。

やぶ医者  
実は  
名医です!

やぶ医者って本当は  
すごい名医だったんだね



### 日本近代の推進者を育てた



#### 池田草庵

「但馬聖人」と呼ばれた幕末期の儒学者。立誠舎と青谿書院という私塾で計673人の門人が草庵に学んだ。門下生には北垣国道、原六郎など、明治・大正期に活躍する逸材を多数輩出した。

近代日本を  
築いた偉人が  
生まれたまち



### 琵琶湖疏水を開いた行政家

#### 北垣国道

明治の政治家。若くして池田草庵のもとで学ぶ。倒幕運動に身を投じ、明治新政府では高知県知事、徳島県知事を歴任後、第3代京都府知事に就任し琵琶湖疏水工事を完成させる。のちに北海道庁長官等にも就任する。



小さな街だけけど偉人を  
多く輩出しているんだね



長い歴史を持った  
農産物なんです

朝倉山椒の  
発祥は「養父市  
八鹿町朝倉」



枝にトゲがなく、実が多く、香りの良い朝倉山椒。その歴史は古く400年前、徳川家康に献上されたという記録が残っています。

S U P P O R T

# 子育て 支援制度

切れ目のない  
サポートで  
子育て世帯を  
応援します。

妊娠・出産・子育てを  
サポートします。

養父市では、子育てがしやすい環境づくりに特に力を入れています。不妊治療費助成、新生児聴力検査費助成、乳幼児等・こども医療費の無料化（健康保険適用分の医療費）、さらには、保育料の負担軽減を図るなど、安心して出産・子育てができるよう支援しています。

ママの健康を守り、元氣な  
赤ちゃんを出産するために

## 妊婦健康診査費補助事業

妊婦健康診査にかかる費用に対し、  
13万円を上限に補助します。



[補助]

最大**13**万円

## 妊娠

## 結婚



兵庫県内  
トップクラスの  
充実度！

結婚を祝福します

### 結婚新生活 スタートアップ事業

新婚世帯に対し、住居費、引越し費用を  
最大30万円補助します。所得要件、年齢要  
件等あり。

赤ちゃんが欲しいをサポート

### 不妊治療費助成事業

●特定不妊治療をされる方  
保険が適用された特定不妊治療（体外受精  
および顕微授精）を受けられた夫婦に対し、  
治療費を1回あたり10万円を上限に助成し  
ます。

### ●一般不妊治療をされる方

一般不妊治療をされる方には1年度につき一回  
に限り年間5万円を上限に助成します。



[一般不妊治療費の補助]

年間**5**万円

[特定不妊治療費の補助]

1回**5~10**万円

[補助]

最大**30**万円



制度の  
詳しい情報は  
こちらから



# 子どもの医療費を手厚く助成しています。

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、養父市は独自の制度で医療費助成の充実を図っています。どの世帯のお子さんも中学3年生までは無料で医療を受けることができます。これは、兵庫県内でもトップクラスの手厚い支援となっています！

## 入院養育が必要な赤ちゃんを守りたい

### 未熟児養育事業

出生体重が2000グラム以下の赤ちゃんなどを対象に入院医療費のうち、健康保険適用分の自己負担額および入院時食事療養費の自己負担分の医療費を全額助成します。



[医療費]  
**全額無料**

## 赤ちゃんが健康に育ってほしいから

### 乳幼児等医療費助成事業

0歳から小学3年生までのお子さんが市内在住の場合、健康保険適用分の医療費を全額助成します。

※(国、県の各種制度による助成後の医療費も対象)



[医療費]  
**全額無料**

### 新生児聴力検査費助成事業

聞こえに問題を持つ赤ちゃんを早期に発見し、適切な治療や援助を行うため、生後1か月以内に受けられた新生児聴力検査に要した費用を全額助成します。



[検査費]  
**全額無料**

### 生後2週間児健康診査費助成事業

生後2週間児健診にかかる費用を全額助成します。  
※生後1か月健診の助成はありません。



[検査費]  
**全額無料**

## 出産



妊娠中からママを支援します

### 産前・産後サポート事業

妊娠期から産後1年を重点的に子育て相談・交流・友達づくりなど楽しい子育てを保健師・栄養士がサポートします。

### 産婦健康診査費助成事業

産後2週間・1か月の産婦健診にかかる費用を全額助成します。

### 産後ケア事業

心身のケアや休養が必要な産後のお母さんを対象に、病院でゆっくりコース(宿泊型)、助産婦訪問コース(アウトリーチ型)、日ゆったりコース(デイサービス型)の3つのコースがあります。



[健診費]  
**全額無料**



## 乳幼児



子どもの成長をカンタンに記録

### 母子手帳アプリ「やっぱー子育てアプリ」

妊娠中や子どもの成長が記録でき、発育状況がグラフ化されるアプリを運用しています。家族間で子どもの成長記録や予防接種の記録を共有することができます。



# 成長に応じた

# サービスで支援します。

医療費以外にも、給食費の負担軽減や通学費の補助、さらには大学等に進学する若者への支援など、お子さんの健やかな成長を支援し、安心して子育てができる環境を整えています。



## 心身の健やかな成長を支えます

### 給食費負担軽減事業

小学生および中学生の子どものいる家庭の給食費を補助します。



第1子とは  
月額**3,000円**  
第2子以降は  
月額**2,100円**

## 遠距離通学費もしっかりサポート

### 遠距離通学児童・生徒通学費補助事業

市立小・中学校及び義務教育学校に遠距離通学する児童・生徒の保護者に対してバス代、自転車通学費などを補助します。

- ・2 km以上から通学する児童・生徒のバス定期補助。
- ・2 km以上から通学する生徒の自転車通学補助。



### 高校生通学費補助金交付事業

市に居住し高等学校に電車およびバス通学する生徒の保護者に対し、定期乗車券購入費用の一部を補助します。

待機児童ゼロ！

## 認定こども園 (保育所)



### 地域で子どもを育てる

#### 子育て応援給付金

養父市に住民票があり、保育所・認定こども園等を利用せずに、在宅で2歳までの子どもの育児を行う保護者に対して、給付金を支給致します。(お子様1人当たりの支給額…1歳の誕生月まで月額10,000円、1歳の誕生月の翌月から2歳の誕生月まで5,000円)

1歳の誕生月まで  
月額**10,000円**  
1歳の誕生月の翌月から2歳の誕生月まで  
月額**5,000円**

#### 認定こども園・保育所の保育料完全無償化

養父市に住民票がある家庭を対象に、保育料・副食費を無料としています。

#### 地域子育て支援拠点事業

親子の交流や子育て相談が出来る子育て広場事業の開催  
子育て世帯をサポートするために、各地域の保育所や認定こども園、NPOや市民団体が子育て広場事業などを開催しています。気軽に親子の交流や子育て相談ができる場となります。

#### 任意予防接種の助成をします

#### 妊婦、小学生以下のインフルエンザ無料

中学生以下・妊婦(母子健康手帳を交付された方)に全額助成。中学生・高校生に1回2,000円助成する事業です。



中学生以下・妊婦  
**全額無料**  
中学生・高校生  
1回**2,000円**

#### ママの代わりに子どもを見守ります

#### 病児保育事業

保護者が就労している場合において、お子さまが病気の際に集団保育や自宅での保育が困難な場合に一時的にお預かりし、安心して子育てができる環境を整備することを目的とした事業です。(対象…生後6カ月以上から小学6年生まで)



## 中学校



小中一貫教育

## 小学校



#### 学童保育事業

運動に取り組んだ市民に  
健康ポイントが付きます

## 市民健診と やっぷー健康ポイント

市民一人ひとりが健康づくりに励むことで、健康寿命を延ばし、医療費や介護給付費の削減も可能となります。市は、「養父市自然を活かした健康づくり推進条例」の制定を受け、健康づくりを積極的に推進するために、健康づくりに取り組んだ市民に対して健康ポイントを付与し、継続する・グループで頑張る・地域で頑張る市民を応援します。



### 対象

市内在住・在勤の18歳以上の方  
(高校生は除く)

### 特典

- ①健康づくりに励むことで元気になります
- ②貯めたポイントは、健康増進施設等の利用料、市民ドックの受診料、ごみ袋、クオカードなどと交換できるため、継続する意欲が高まります
- ③市が行う事業や地域・グループで行う活動にポイントがつくため社会参加の機会が増えます

健康ポイント事業に  
取り組んで  
みんな元気に!!

## 子育て 支援制度



4年制大学では

最大 **240** 万円  
(1か月当たり5万円)

貸与期間終了後  
養父市に定住の場合は  
奨学金の返済猶予・免除

**若者未来応援奨学金事業**  
修学意欲のある若者の未来を応援するため、大学等に進学する若者に対し、1か月当たり5万円の奨学金を貸与。貸与期間終了後に定住した場合、条件を満たせば奨学金の返済を猶予・免除します。要件等あり。

大学等進学者も支援します

子育て期間は  
最後まで  
サポート



高等学校

保護者が昼間家庭にいない児童(小学生)が安心して放課後過ごせるよう、月曜日から土曜日まで全小学校区に児童クラブを設置しています。(ただし、土曜日は希望制)

### 休日一時預かり事業

保護者の就労形態の多様化や傷病等による緊急時の児童の一時的な保育に対応するため、休日や祝日に児童の一時預かり保育を行っています。  
(対象…3歳児から小学6年生まで)

### 中学卒業までの医療費をサポート

### こども医療費助成事業

小学4年生から中学3年生までのお子さんが市内在住の場合、健康保険適用分の医療費を全額助成します。

※(国、県の各種制度による 助成後の医療費も対象)

### 通信制大学等受講する 若者を支援します

### 若者キャリアアップ支援金事業

通信制大学等を受講する若者または在学している者に対し、通信大学等の入学金、年間授業料の合計額の2分の1(上限10万円)の支援金を給付し、若者のキャリア・スキルアップを支援します。要件等あり。

[補助]

最大 **10** 万円

[医療費]

**全額無料**

# 仕事さがしを サポートします



**やぶパートナーズ株式会社**  
養父市が100%出資する「やぶパートナーズ株式会社」では、様々なビジネスアイデアを持った方をサポートするなど、熱意と意欲のある起業家の挑戦を応援しています。  
〔所在地〕兵庫県養父市八鹿町八鹿16852  
〔問〕079-661-9001

## 起業するなら

起業者の挑戦を応援します

# S U P P O R T 就農・就職 支援制度

移住を考える際に、「住みたいけど仕事があるのか不安」と感じている方もいはず。養父市で働くといっても、会社に就職したり、農業を始めたたり、自分で起業したりなど様々です。

養父市では、新たに農業を始めたい方や起業を考えている方などに様々な支援制度を設けています。

また、養父市が100%出資する「やぶパートナーズ株式会社」では、様々なビジネスアイデアを持った方をサポートし事業化したり、起業しようとする方へ出資したりするなど、熱意と意欲のある起業家の挑戦を応援しています。

快適な田舎暮らしを実現するためにも、まずは希望にあった仕事をハローワークやこれらの機関などを利用して探してみましょう。

## 起業支援制度

### 創業・第二創業補助金

個人や事業者が起業する新規創業の経費に対し、最大100万円補助。食品等の製造加工を行う場合は100万円上乗せします。(補助率2分の1 ※条件を満たせば3分の2)

〔補助〕  
最大  
**200**万円

### 企業支援センター

企業支援センターで、起業に係る相談受付、各種申請手続などを支援します。また、起業に必要なスキルが習得できる創業塾も開催予定です。

### ふるさと起業・移転促進事業 (県の支援事業)

県内で起業・第二創業を目指すU・I・Jターン起業家の新規事業や新事業展開を最大200万円補助、空き家を活用する場合は改修費に対し100万円上乗せします。(補助率2分の1)

〔補助〕  
最大  
**300**万円

制度の  
詳しい情報は  
こちらから



## 就職したい

就職に向けた情報収集

### 介護人材確保事業

介護サービス事業所等にUターン・イターン者及び新卒者として就職する人に対して、引越費用や就職祝金などを補助します。要件等あり。



### 事業所ガイドブックの発行

養父市内の事業所を紹介するとともに学生やU・Iターン者の就職活動の参考としていただくため、養父市商工会と連携して「養父市事業所ガイドブック」を作成しています。





国家戦略特区指定  
中山間農業改革特区

# 国家戦略特区で 農業をしやすい環境を整えています

## 農業を始めたい

養父市は、面積の84%を山林が占め、四方を急峻な山々に囲まれた中山間地域です。山裾と河川に沿って民家と農地が小規模に広がり、米や野菜の栽培、畜産業などが営まれています。しかし、少子高齢化などによる後継者不足もあり、耕作放棄地が増加し、農業の衰退が地域の大きな課題となっています。

こうした課題を解決するため、養父市は平成26年5月に国家戦略特区の指定を受け、規制緩和により企業が農業参入しやすい環境を整え、6次産業化の推進による地域経済の活性化と、個人だけでなく企業も含めた多様な農業の担い手の確保に取り組みながら、耕作放棄地の解消と持続可能な農業を目指しています。

農地が取得しやすくなりました

### 農地流動化の促進

- 農地の権利移動の事務処理日数が大幅に短縮
- 農地の権利取得の下限面積を10aに引き下げ
- 空き家とそれに付属する農地をセットで取得する場合は10a未満でも取得できます



企業が農業参入しやすくなりました

### 6次産業化の推進

- 企業の農地取得が可能
- 廃校を活用した6次産業化支援センターの整備

## 多様な農業の担い手を募集しています

農のあるライフスタイルを提案します

本格的に農業に取り組み  
生計を立てたい

芸術、音楽、農業以外の仕事などを  
しながら農のある暮らしをしたい

田舎に移り住み  
自給程度の農業をしたい

### がっつり農業

(本格的に農業を営む)

就農に必要な知識や技術の習得を支援し、おおや高原(有機ほうれん草など葉物野菜)、轟高原(大根)といった産地で就農できます。

### じっくり農業

(農業と両立した生活)

半農半X、休日農業など兼業農家のライフスタイルが楽しめます。市内には農産物直売所があり、生産した農産物を販売することができます。

### ゆったり農業

(家庭菜園)

あなたの希望をかなえるため、農地を斡旋し指導者を紹介します。また、おおや有機農業の学校などで有機農業を学べます。

関係機関と連携して、就農に必要な知識や技術の習得、経費・資金の確保、農地の確保などを支援し、あなたのやりたい農業を応援します。

## 就農を応援する給付金制度

### 新規就農者育成総合対策 (経営開始資金)

経営が不安定な就農直後の所得を確保するための資金を交付(年間150万円を最長3年間交付)します。原則50歳未満で独立・自営就農することが要件となります。

[補助] 最長3年間  
**150万円**

### 養父市新規就農希望者研修 支援交付金

養父市で農業を希望する方が、養父市内の親方農家のもとで就農にむけた研修を実施することで研修期間中の生活資金として年間180万円を最長3年間交付します。原則50歳未満で独立・自営就農することや、就農後は5年以上農業を継続すること等が条件となります。

[補助] 最長3年間  
**180万円**



S U P P O R T

# 住宅 支援制度

養父市では、市内にある空き家を有効利用して、移住定住促進による地域の活性化を図るため、養父市空き家情報登録制度「空き家バンク」を創設、運営しています。

養父市に移住・定住したいとお考えの方は、空き家バンク制度を利用して住まいを探すことができます。

また、住宅購入支援をはじめとして、リフォーム補助や民間賃貸住宅の家賃補助などU・Iターン者を支援する様々な制度を設けていますので、ぜひご活用ください。

住まいに  
必要なサポートも  
充実しています。

制度の  
詳しい情報は  
こちらから



## <移住定住相談窓口>

養父市では住まいに関するさまざまな補助支援制度を設け、「やぶぐらし・地方創生課」と「(一般社団法人) 田舎暮らし倶楽部」が協力してきめ細かなサービスを提供しています。

養父市役所市民生活部  
やぶぐらし・地方創生課

TEL : 079-662-3172 / FAX : 079-662-7491  
e-mail : yabugurashi@city.yabu.lg.jp  
<https://www.yabugurashi.jp/>

(一社)田舎暮らし倶楽部

空き家の現地案内や移住定住に係る各種相談、行政や地域との連絡調整などを行います。

TEL : 079-665-5033 / FAX : 079-662-0008  
TEL : 080-3830-2643  
e-mail : inakagurashiclub@gmail.com  
<https://job-support-yabu.org/>

住まい探しや住宅支援制度はご相談ください

## やぶの空き家活用支援事業

空き家を購入または賃借し、水回りの改修や雨漏り補修等の空き家の機能回復および設備改善のための工事を行う場合、対象経費の2分の1(最大150万円)を補助します。年齢要件等あり。



[補助]  
最大 **150** 万円

## 家を建てたい

[補助]  
最大 **40** 万円



▽ **やぶ暮らし住宅支援制度**  
▽ **新築奨励金**  
延床面積が75平方メートル以上の専用住宅を新築した場合、新築奨励金(上限40万円)を交付します。年齢要件等あり。

## 家を借りたい



[補助]  
月額最大 **2** 万円  
(最大12カ月間)

▽ **やぶ暮らし住宅支援制度**  
▽ **民間賃貸住宅入居奨励金**  
賃借料の月額が4万円を超える民間賃貸住宅等に入居した場合、月額2万円を上限に最大12カ月間、奨励金を交付します。年齢要件等あり。

古民家など空き家を利用したい



**▽やぶ暮らし住宅支援制度  
▽空き家購入奨励金**

延床面積が75平方メートル以上で、200万円±地の取得費用を含む。以上の費用を要して空き家を購入した場合、空き家購入奨励金（上限30万円）を交付します。年齢要件等あり。

[補助] 最大 **30** 万円



**空き家情報登録制度「空き家バンク」**

市内の空き家を利用（賃貸または購入）したい方に対し、空き家バンクに登録された物件の情報提供を行います。

<http://www.yabuakiyabank.jp>

地震に備えたい



**▽耐震改修工事等補助金**

住宅の簡易耐震診断、耐震改修計画策定、耐震改修工事をする場合、その対象工事費等を補助（費用ごと組み合わせ上限150万円）します。住宅要件等あり。

[補助] 最大 **150** 万円

移住後に生活スタイルが変わっても安心



**▽やぶ暮らし住宅支援制度  
▽増改築奨励金**

延床面積が75平方メートル以上で、50万円以上の費用を要して専用住宅または賃貸住宅等（共同住宅を除く）を増改築した場合、増改築奨励金（上限25万円）を交付します。年齢要件等あり。

[補助] 最大 **25** 万円

適用

適用

適用

**▽やぶ暮らし住宅支援制度  
▽U・イーターン奨励金**

U・イーターン者又は世帯が本市に定住若しくは学生U・イーターン者が就業のため本市に居住した場合、奨励金を一人当たり5万円を加算します。（賃貸住宅の場合は1世帯5万円）

[補助] 一人 **5** 万円  
[賃貸の場合] 1世帯 **5** 万円

適用

**市営住宅への入居**

市内には、市営住宅309戸が整備され、空き住戸が生じた場合、随時入居者を募集しています。また、U・イーターンをされた方も利用することができるようになりました。各種要件等あり。



## 田舎暮らし

## Q&amp;A

田舎暮らしを検討している方、特に都市部の方からよくいただくご質問に関して、回答をまとめました。移住を検討する際に参考にしてください。

## Q.1

移住後、地域にとけ込めるか心配です。

Ⓐ 田舎の魅力でもある風習やしきたり、伝統や文化に対して尊重し受け入れる気持ちが大切です。協力しあって生活している田舎はご近所づきあいも重要です。出会ったらあいさつすることはもちろんのこと、地区の行事にも積極的に参加しましょう。

## Q.2

田舎の物価は高いですか？

Ⓐ 都会と比べて価格競争が少ないため日用品などについては高いかもしれませんが、住居費などは安価で済みます。また、田舎では近所の人と親しくなると野菜などをいただけることもあります。

## Q.4

医療機関は整備されていますか？

Ⓐ 市内には、総合病院である公立八鹿病院があります。そのほか、市立の診療所4（医科2、歯科2）、民営の診療所19（医科12、歯科7）があります。また、緊急時には、近接する豊岡市からドクターヘリが出動する体制も整備されています。

## Q.3

仕事や住居はありますか？

Ⓐ 都会と同じようにはいきませんが仕事も住居もあります。仕事に関してはハローワークで探したり、U・Iターン就職相談会に参加したりするのがいいでしょう。住居に関しては、公営住宅や不動産屋で探す以外にも「養父市 空き家バンク」でも物件を紹介していますので、ご相談ください。また、空き家の購入や増改築に係る補助金もあります。

## Q.5

田舎では行事や共同作業が多いと聞きます。

Ⓐ 地区により異なりますが、道路や河川の清掃作業など自治会の共同作業として行われています。地域の行事に参加することは、地域の人と仲良くなれるきっかけにもなりますので、できる限りの参加を勧めています。

## Q.6

学校、保育所、認定こども園はどのくらいありますか？

Ⓐ 市内には、保育所1（公立1）、認定こども園10園（公立7、私立3）、学童クラブ9、小学校8校、中学校3校、義務教育学校1（前期課定、後期課定）高校3校（通信制高校を含む）があります（令和4年4月時点）。

## Q.8

### 田舎ではマイカーが必需品ですか？

Ⓐ 電車や路線バスなどの公共交通機関はありますが、都会とは違い便数が少ないので、思うように利用できない場合があるかもしれません。通勤や買い物など日常的な利便性を考えると自家用車は欠かせません。

## Q.7

### 養父市は雪が降りますか？ 雪道の運転が心配です。

Ⓐ 年によって異なりますが、毎年雪が降ります。道路の除雪は行われますが、自動車は冬用タイヤの着用が必要となります。

## Q.9

### 冠婚葬祭がたいへんと聞きましたが？

Ⓐ 近年、田舎でも葬儀は専門業者のセレモニーホールで行うことが多くなりました。ご近所の方が亡くなった場合、通夜や葬儀の手伝いをお願いされることもあります。

## Q.10

### 移住の前に 養父市での暮らしを 体験してみたいのですが？

Ⓐ 体験住宅等を借りて、数日から数か月の“田舎暮らし体験”をすることができます。また、希望により農業体験をすることもできます。

## Q.12

### 神社・寺などの 行事って何ですか？

Ⓐ 各地域にある神社仏閣でそれぞれ春祭りや秋祭りなどが行われています。秋祭りでは、神輿を担いだり、奉納相撲やもちまきを行ったりする地区もあります。

## Q.11

### 移住するには、 まず何から始めれば いいでしょうか？

Ⓐ まず、自分が移り住んで何をしたいのかよく考えましょう。どのような環境でどのようなライフスタイルを求めているのか、目的をはっきりさせた上でそれが実現できる地域を探します。気候、仕事、住まい、子育て、買い物、医療など必要な地域情報について、実際に現地を訪れて収集することをお勧めしています。やぶ暮らしセミナーや体験住宅、農家民宿などを通じて、その土地や人に触れてみることから始めてはいかがでしょうか。

## Q.13

### 入村金や区費が 必要だと聞きますが？

Ⓐ 自治会活動を支えるため、区域内の住民からは「区費（賦銭）」を徴収しており、金額は自治会（区）ごとに異なります。区費は、地域内の防犯、衛生、コミュニティなどまちづくり活動の運営費として使われています。また、区費以外にも入村金が必要な地区もあります。

## 移住へのステップ

安心して田舎ぐらしができる環境をサポートします

## 養父市の情報を集めよう

田舎で何がしたいのかをしつかり考えましょう。生活に必要な情報はそれぞれライフスタイルや考え方によって違います。子育て世代なら保育・教育環境、高齢者であれば福祉施設等の情報も必要です。

## 実際に行ってみよう

情報収集で気になる地域がきたら、必ず下見に行ってみましょう。雰囲気や土地柄、住民の方の人柄など何かしら感じるころがあります。田舎暮らしのセミナーやお試し住宅を利用するのも、おすすめです。

## 仕事を決めよう

やはり、生活の基盤は仕事です。養父市は但馬の中央に位置し、但馬地域全域は、ほぼ1時間圏内です。運転免許と車があれば、仕事の方向性や就職を決めてから家を探しても十分に合います。

就農や起業等をお考えの場合は、情報収集を怠りなく行ってください。ご自分が想定しているマーケットは実情と異なる場合が多いものです。

## 住まいを見つけよう

ここまでいろんな方に相談しているはずですので、相談しながら希望の物件を探しましょう。空き家を購入する場合、意外に修理費用がかかることもあります。心づもりや金銭的な準備をしておきましょう。

## 引っ越し、やぶぐらしのスタート

移住先が決まったら引っ越しのスケジュール計画を立て、必要に応じて学校の転入手続きなどを行います。

地元の行事などに参加して地域との交流を深め、ゆっくりと自分の居場所をつくり、養父を故郷と感じていただければ幸いです。

やぶぐらしに  
関する事  
なんでも  
相談ください

## 田舎暮らし倶楽部

## 養父市子育て・移住サポートセンター

田舎暮らし倶楽部は、市内の空き家情報の提供や農業体験・交流事業など、養父市への移住を希望されている方の支援活動を市と協働で行っています。

田舎暮らしを希望する人が知りたい情報は、交通の利便性や地域の気候、風土、慣習といった多くの人が共通するものから、保育や教育環境、病院や福祉施設の情報など、世代によって異なるものまでさまざまです。

養父市では、移住・定住に関する相談や情報発信、子育て相談や日曜日等の学童一時預かり、起業・創業支援、地域との交流などを推進するため、「養父市子育て・移住サポートセンター」を平成30年2月に開設しております。

センターには、専門のスタッフが常駐しています。移住がスムーズに進むように、全てのニーズに応えられるワンストップ相談所をめざしています。地元に住んでいるからこそ得られる情報の提供や地域との橋渡しなどを心がけています。ぜひ、お気軽にご相談ください。



養父市子育て・移住サポートセンター



## 【お問合せ】

兵庫県養父市八鹿町八鹿 1694 番地1  
養父市子育て・移住サポートセンター  
定休日 火曜日、年末年始  
mail: inakagurashiclub@gmail.com  
TEL: 079-665-5033  
TEL: 080-3830-2643  
FAX: 079-662-0008  
https://job-support-yabu.org/

(一社)田舎暮らし倶楽部  
代表理事

西垣 憲志さん

「移住や定住を目指してるけど、いきなり移住となるとやっぱりハードルが高い…」 「地域のことをよく知らないのに移住するのはちょっと…」と考えておられる方はいませんか？  
 そんな方にオススメなのが「養父市ちょこっと暮らし（体験住宅）」です。  
 養父市への移住を考えておられる方は、まずちょこっと暮らし住宅で養父市の暮らしを体験してみませんか。

ま  
ず  
は  
田  
舎  
暮  
ら  
し  
を  
体  
験  
し  
ま  
せ  
ん  
か  
？

### ちょこっと暮らし住宅

本格的な移住を前に、移住先として検討している地域での実際の暮らしを体験する「ちょこっと暮らし住宅（体験住宅）」を設けています。入居期間は最長1年で、自然や気候、買い物、交通、近所づきあいなどの生活環境を体感したり、仕事や住まいを探したりと移住の助走期間として利用できます。賃借料1か月当たり3万円（光熱水費等は込み）。



加保住宅



大屋市場住宅

〔所在地〕兵庫県養父市大屋町加保、大屋市場  
 〔問〕市民生活部やぶぐらし・地方創生課 (TEL.079-662-3172)

### 短期滞在支援住宅

移住希望者が一定期間市内での生活体験を提供するため短期滞在支援住宅を設けています。  
 入居期間最長5泊  
 使用料無料



〔所在地〕兵庫県養父市大屋町大屋市場  
 〔問〕市民生活部やぶぐらし・地方創生課  
 (TEL.079-662-3172)

### 田舎暮らし体験施設 「カケハシ」

移住希望者の市内での生活体験を提供するため、入居期間を定めた体験住宅を設けています。  
 賃貸料 24泊25日 35,000円（税抜）  
 （光熱水費は別）



〔所在地〕兵庫県養父市奥米地604-2  
 〔問〕高中そば処 (TEL.079-665-0364)  
 Mail kounakasoba@gmail.com

## 養父市へのアクセス



- お車で**
- ◇大阪から…約2時間00分、神戸から…約1時間30分
    - 大阪・神戸→(中国自動車道)→吉川JCT→(舞鶴若狭道)→春日IC→(北近畿豊岡自動車道)→養父IC 又は 八鹿氷ノ山IC
    - 大阪・神戸→(中国自動車道)→福崎IC→(播但連絡道)→養父IC 又は 八鹿氷ノ山IC
  - ◇京都から…約2時間30分
    - 京都→国道9号→(京都縦貫道路)→国道9号
- ※養父IC→八鹿氷ノ山ICおよび、八鹿氷ノ山IC→養父ICのみの乗降はできません。

- JRで**
- 【八鹿駅下車】
- 大阪から…特急で約2時間10分      舞鶴から…特急で約1時間30分
  - 京都から…特急で約2時間              鳥取から…特急で約1時間40分
  - 神戸から…特急で約2時間10分      岡山から…新幹線と特急で約1時間40分

- 飛行機で**
- ◇大阪(伊丹空港)→コウノトリ但馬空港…約40分
  - ◇東京(羽田空港)→大阪(伊丹空港)→(乗り継ぎ)→コウノトリ但馬空港…最短2時間
  - 但馬空港より、お車・タクシー・レンタカーで／養父市内まで約30分
  - 但馬空港よりバスで／コウノトリ但馬空港→JR豊岡駅…約15分、JR豊岡駅→JR八鹿駅…約40分
  - 但馬空港よりバス&JRで／コウノトリ但馬空港→JR豊岡駅…約15分、JR豊岡駅→JR八鹿駅約20分

移住に関するお問合わせは

## 養父市役所 市民生活部 やぶぐらし・地方創生課

〒667-8651 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1675 番地 (本庁舎 2 階)  
 TEL : 079-662-3172 / FAX : 079-662-7491  
 e-mail : yabugurashi@city.yabu.lg.jp  
 [養父市 HP] <https://www.city.yabu.hyogo.jp/>  
 [やぶぐらし～U・I ターン総合サイト～] <https://www.yabugurashi.jp/>